

平成15年度 公共事業再評価調書（地すべり策事業）

（事業着手後 5年以上経過し継続中の事業、再評価後5年経過、社会情勢の急激な変化）

評価確定日	平成15年 月 日
所管部課名	農林水産部 農地整備課

地区名	事業の概要	1 必要性の観点			2 事業進捗の見込みの観点																																			
		事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業の投資効果																																				
<p>[路線名]</p> <p>[箇所名]</p> <p>かみ つばき 上 椿</p> <p>[所在地]</p> <p>由利郡鳥海町 下笹子</p>	<p>[事業の目的]</p> <p>「地すべり等防止法」に基づき地すべりによる被害を除去し、又は軽減することにより、農地や農業施設等を守り農業基盤の維持および国土の保全を図るとともに人家の破壊や人命等への危険等を除去し、民生の安定を図る。</p> <p>平成4年春の融雪時に地すべりが発生し、この拡大による農地や農業施設および下流域にも被害を及ぼすことが懸念されたため、平成5年に地すべり防止区域の指定を受け地すべりが顕著なブロックから順次、防止工事を実施している。</p> <p>[総合計画上の位置付け]</p> <p>あきた21総合計画 《政策》潤いとやすらぎを提供する農山村空間の創造 《施策》快適で生き生きした農山村づくり 《目標》県土の保全・自然生態系を育む基盤づくり 【農地等の防災・保全】</p> <p>[事業の内容]</p> <p>○地すべり対策事業 ○指定区域面積 47.14ha (H5.7.15指定) ○保全対象 農地 17.35ha (水田・畑) 農業用水路 4.5km 家屋 (人家、農具庫等) 11棟、町道、橋梁、林道他</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>諸元</th> <th>H10再評価時</th> <th>H15再評価時</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査防止工事</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>集水井工</td> <td>4基</td> <td>4基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水抜ボーリング工</td> <td>6,680 m</td> <td>6,680 m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土留工他</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費 (百万円)</td> <td>242</td> <td>233</td> <td>△9</td> <td>労務資材単価減による</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H5~H13</td> <td>H5~H16</td> <td>3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	諸元	H10再評価時	H15再評価時	増減	理由等	調査防止工事	1式	1式			集水井工	4基	4基			水抜ボーリング工	6,680 m	6,680 m			土留工他	1式	1式			事業費 (百万円)	242	233	△9	労務資材単価減による	工期	H5~H13	H5~H16	3		<p>[事業の経緯]</p> <p>H14迄 水抜ボーリング 2,635m、土留工 1式、抑止工 1式 (ソカ- N=14)、地表水排除工 814m</p> <p>H15 斜面改良工 1式、調査観測解析</p> <p>[進捗状況]</p> <p>○H15末 投資済事業費 180百万円 (77.3%)</p> <p>○地すべりが確認されたA1、A2、E1ブロックの対策工は完了している。</p> <p>指定区域内の継続的な観測調査結果によると、他ブロックに目立った動きは、現段階で確認されていない。</p> <p>[長期継続の理由]</p> <p>機構解析や地すべり防止工事の効果判定調査を実施しながらの対策であるため、期間を要している。</p> <p>毎年、春先の融雪後に行う現地調査で新たに小規模な斜面崩壊等が確認されたため、工期が延伸している。</p>	<p>[社会経済情勢の変化]</p> <p>○事業採択時から再評価実施までの周辺環境の変化</p> <p>変化はない。</p> <p>[地元の意向]</p> <p>関係農家及び関係団体と連絡調整を図り現地調査、対策工事を実施してきており、本事業への期待は大きく、区域の安全が早期に確保されるよう望まれている。</p> <p>[環境対策]</p> <p>「農業農村整備環境対策指針」などに基づき事業推進している。</p>	<p>[整備効果]</p> <p>地すべりが発生したブロックの地下水及び地表水の排除工等の防止工事を実施したことにより、対策ブロックは安定化している。</p> <p>また、継続的な調査観測の結果から、区域全体の安定化が把握されている。</p> <p>[費用の変化]</p> <p>労務資材単価の変動による減</p> <p>再評価時事業費より4%の減</p> <p>[費用対効果]</p> <p>被害想定額(百万円) / 事業費(百万円) = 287 / 233 = 1.23</p>	<p>現在まで地すべりが確認されているブロックの対策工事は、本年度のD1ブロックの斜面改良工事をもって完了する。</p> <p>H16は、地すべり指定区域全体の観測調査を継続し事業完了する予定である。</p>
諸元	H10再評価時	H15再評価時	増減	理由等																																				
調査防止工事	1式	1式																																						
集水井工	4基	4基																																						
水抜ボーリング工	6,680 m	6,680 m																																						
土留工他	1式	1式																																						
事業費 (百万円)	242	233	△9	労務資材単価減による																																				
工期	H5~H13	H5~H16	3																																					
再評価の結果		対応方針 (案) 及びその理由			公共事業評価専門委員会の意見																																			
<p>継続・中止</p>		<p>[対応方針 (案)]</p> <p>現時点での計画どおり、平成16年度完了を図る。</p> <p>[理由]</p> <p>本事業の実施により、地すべり防止区域全域で安定化が図られてきており、対策工の効果判定と区域全体の観測調査を継続し、安定を確認し事業完了したい。</p>																																						